

## 令和5年度「日本赤十字社」 会費及び寄付金の納付報告

赤十字の活動は、皆さまからの善意（会費や寄付金）により行われています。坂井市地区においても、毎年5月の赤十字運動月間にあわせて、赤十字運動推進のために会費の募集を行っております。区長様をはじめ、関係各位のご協力により、市地区窓口や街頭募金で受け付けました会費等は、下記のとおりです。

### ● 令和5年度会費額 10,618,493円

全額、日本赤十字社福井県支部へ納付いたしました。

皆さまからの深いご理解と多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。

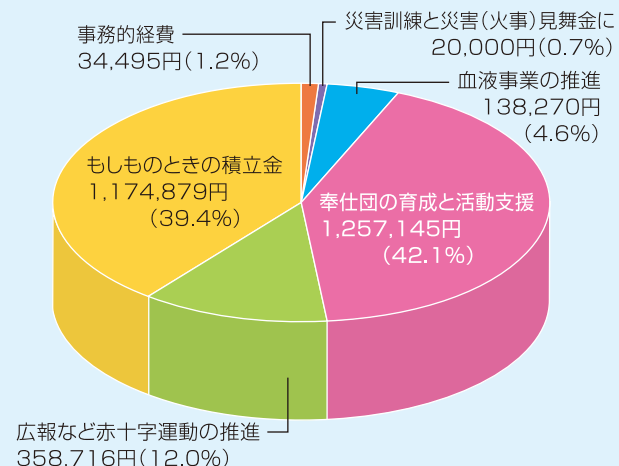


## 令和5年度「日赤坂井市地区」 決算報告

収入合計 2,983,505円

内訳／県支部交付金 1,695,000円  
前年度積立金 1,288,495円  
預金利子等収入 10円

支出合計 2,983,505円



## 令和6年度受付「災害義援金」等報告

### ～ご協力ありがとうございました～

- 令和6年能登半島地震災害義援金 ..... 570,873円
- 令和6年9月能登半島大雨災害義援金 ..... 456,596円
- NHK海外たすけあい ..... 143,304円
- 2024年台湾東部沖地震救援金 ..... 28,724円

(令和7年1月31日現在)

皆さまからご寄付いただきました義援金等は、日本赤十字社を通じて被災者の支援等に活用されます。

## 令和5年度 業務功労表彰

長年にわたり奉仕団活動に従事した団員が表彰を受けました。奉仕活動に率先して参加し、貢献度の高い、20年以上活動されている方に贈られる金色有功章を受章されたのは、以下の10名の方々です。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

池田 洋子 川田 美恵子 北出 榮子  
小林 シゲ子 小林 美代子 中出 愛子  
山本 恵美子 山本 和子 吉田 ツヨ子  
吉永 瑞子

(敬称略)

## 奉仕団員 募集！

赤十字奉仕団は、赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会を住みよくしようという気持ちで活動しています。できる時にできる範囲で一緒に活動しませんか。年齢や性別は問いません。あなたの入団をお待ちしています。

### <団員の声>

- ・世界中で戦争や大災害によって多くの人が亡くなったり傷ついたりするニュースを見聞きすると、心が痛みます。私たちにできることは些細なことですが、奉仕団の活動を通じて人々のために少しでも貢献できればと思います。(M・Tさん)
- ・県内外の防災センターを見学して研鑽を積んだり、団員同士の交流を深めたりしながら、楽しく活動しています。(K・Wさん)

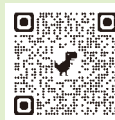
興味のある方は、お近くの奉仕団員か、坂井市役所社会福祉課(50-3041)までお気軽にご連絡ください。

## 献血へのご協力をお願いします!!

輸血などに必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、皆さまの継続的な献血協力が必要です。あなたの健康な血液で尊い命を救うことができます。ぜひともご協力をお願いします。

### 【献血ができる場所】

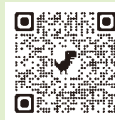
- 献血ホールいぶき 福井市月見3丁目3-23  
予約することで待ち時間を短縮できます。  
○ 献血カードをお持ちの方  
> 献血Webサービス「ラブラッド」よりご予約ください。
- 献血が初めての方、献血カードをなくした方  
> 予約専用ダイヤル 0120-291-321



ラブラッド  
QRコード

### ● 献血バス

坂井市内では市役所や商業施設などで、献血バスによる街頭献血を定期的に行っています。献血バスの運行予定は血液センターHPをご確認ください。



献血バス運行確認  
QRコード

## 日本赤十字社坂井市地区広報

# あなたの街の赤十字

No. 18  
2025.3.1

## ごあいさつ

市民の皆さまには、平素より赤十字活動の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

赤十字の活動は、市民の皆さまや赤十字奉仕団員の方等の善意による会費や寄付金等により支えられており、災害に備えた救援物資の備蓄や、災害時の医療救護、こころのケア、炊き出しなどの被災者支援のほか、献血事業の推進などに役立てられています。

今後も、安全で安心な地域づくりに取り組んでまいりますので、赤十字の趣旨や活動についてご理解いただき、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

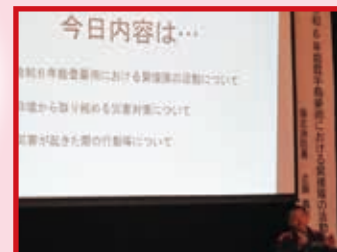


日本赤十字社坂井市地区  
地区長 池田 禎孝

もしもの時に  
備えて...

## 日赤ボランティア基礎研修会

私たちは  
能登地方の復興を  
応援しています!



昨年、能登半島で大きな災害が立て続けに発生したことから、災害への関心が更に高まりました。坂井市赤十字奉仕団のボランティア基礎研修会では、能登半島豪雨の被災地で実際に救助活動を行った嶺北消防署の消防士から、被災地の状況や救助活動の様子、災害に備える心得などについてお話を伺いました。



災害時の避難生活では、大きなストレスや疲労感を抱えることがあります。避難者の身体や心の疲れを癒すために、日赤の指導員からリラクゼーションの実技指導を受けました。



能登半島地震・能登半島豪雨の被災地の復興を応援するため、石川県珠洲市の物産を販売しました。また、募金箱を設置し、義援金を募りました。

発行元：日本赤十字社坂井市地区 坂井市赤十字奉仕団

〒919-0592 坂井市坂井町下新庄1-1 TEL 50-3041 (坂井市役所社会福祉課)



## ごあいさつ

市民の皆様には、日頃から赤十字奉仕団活動にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年は、1月に能登半島地震が発生し、さらに9月には豪雨災害が重なり、能登地方は二重災害に見舞われました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。隣県のことであり、我が事のように心を痛めるとともに、万一坂井市で同様の災害が発生した場合、奉仕団としてどのように活動すべきかを改めて考えさせられました。そこで、復旧作業にあられた消防署の方から、現地の状況をお聞きする研修を実施しました。その中で、避けることのできない自然災害に対して、心構えと備えをしておくことの重要性や、いざという時に地域で支え合える関係を日頃から築いておくことの大切さを改めて認識しました。

「人間を救うのは、人間だ」というメッセージに込められた「人道・博愛」の精神に基づき、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう陰の力となって活動してまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



坂井市赤十字奉仕団  
委員長 定池りゆ子

## 坂井市赤十字奉仕団

坂井市赤十字奉仕団は、国内外の自然災害等で被災した方々を支援するため、義援金・救済金の募金活動を行っています。今年度は、9月に発生した能登半島豪雨を受け、

市内2か所で義援金の街頭募金活動を行いました。街頭募金以外にも、市奉仕団及び各分団の研修会等で募金箱を設置し、本年度は各種義援金等総額309,721円を日本赤十字社へ送りました。

8月に行われた嶺北消防組合の消防総合訓練に参加して、応急救護所にて三角巾を使って怪我の手当てを行いました。10月に開催された市の健康食育フェスタでは、非常食の展示を行い、災害時における食の大切さをアピールしました。昨年度から始めた市内の中学校・高校での防災講座を本年度3校で実施し、坂井高校ではハイゼックを使った非常食作りと新聞紙を使った防災グッズ作りを行いました。また市内の小学校で行われる防災合宿で炊き出し指導をしたほか、年間を通して県赤十字血液センターが実施する献血バスの受付業務にも協力しています。



義援金街頭募金活動



消防総合訓練での応急手当訓練



健康食育フェスタで非常食の展示



防災講座での防災グッズ作り

## 丸岡分団

分団長 伊東 紀子  
副分団長 松川 由紀子  
副分団長 下山 秀子

今年度は特に防災意識が高まり、団員全員で炊き出し講習やAED研修を行いました。

まちづくり協議会やコミュニティセンターなどからも声がかかり、地域の方々と一緒に非常食作りや応急手当の方法を伝えることができ、赤十字奉仕団の活動を知らせていただく良い機会になりました。また、障がいのある方たちとも一緒に非常食や防災グッズを作り、喜んでもらったことを嬉しく思いました。これからも人と人とのつながりを大切に、楽しく活動していきたいと思ひます。



視察研修（名古屋市港防災センター）



救急法講習会



郷づくり協議会防災教室



福祉施設にて防災グッズ作り

## 春江分団

分団長 渡邊 景子  
副分団長 藤田 裕子  
副分団長 西 端 尚 美

春江分団は、近年頻発する災害に対応するための研修や防災訓練に参加しています。

今年度の県外研修では、46名が参加し、滋賀県防災センターを見学しました。また、まちづくり協議会が主催する避難所開設訓練や、春江西小学校の防災合宿での非常食の指導も行いました。

分団研修では、AED研修と合わせて簡易な健康チェックを実施し、自分の健康への関心を高め、今後の生活習慣について学びました。これからも団員が楽しんで学べる内容を考えていますので、ぜひあなたも一緒に活動しませんか。



避難所開設訓練



視察研修（滋賀県防災センター）



防災合宿



分団研修

## 坂井分団

分団長 正藤 露子  
副分団長 竹川 君江子  
副分団長 長谷川 英子

災害時に備え、三角巾を使った応急手当の方法や非常食作りの研修、地域の防災訓練・防災フェス・小学生の防災合宿での非常食作りの訓練と指導を行いました。一方、福祉活動として一人暮らし高齢者に手作りの「タオルうさぎ」190個を贈り、アルミ缶リサイクル活動の収益金で児童施設に遊具を寄贈しました。

視察研修では、陸上自衛隊鯖江駐屯地で災害時活動を学び、しきぶきびんミュージアムや紫式部公園で団員の交流を図りました。これからも地域住民や子どもたちと関わりながら、私たちのできることを続けていきたいと思ひます。



慰問品作り



視察研修（自衛隊鯖江駐屯地）



分団講習会



防災フェスでカレー作り



遊具寄贈

## 三国分団

分団長 木下 元美  
副分団長 篠崎 恵子  
副分団長 杉本 嘉代子

三国分団では、災害時に備え、講習や視察研修を実施し、団員の資質向上と親睦を図っています。

健康講座では、椅子を使った体操とハンドマッサージを行い、救急法講習会では心肺蘇生法と三角巾を使った応急手当の指導を受けました。

視察研修では、陸上自衛隊鯖江駐屯地を訪れ、能登半島での救護活動についての話を聞いた後、駐屯地内での生活や車両の説明を受けました。有事に備え、万全の体制が整えられていることを再認識しました。これからも、学びを深めながら楽しく活動していける分団にしたいと思ひます。



救急法講習



視察研修（自衛隊鯖江駐屯地）

